

JS-CW1020A

フルHD対応 2メガピクセル
蜘蛛の巣ガード機能・ハイパーLED搭載
屋外IRバレット型ネットワークカメラ



取扱説明書

JAPAN SECURITY SYSTEM
Safety and trust keep to the future

目次

はじめに	03
安全上のご注意	05
使用上のお願い	07
外形寸法	08
コネクタ説明	08
製品仕様	09
カメラの取付方法	10
カメラの配線方法①	11
カメラの配線方法②	12
カメラの配線方法③	13
SDカードスロットなど	14
遠隔設定	15
WEBビューア	16
管理者ページ	18
基本設定	19
ネットワーク設定	21
802.1x設定	23
ビデオ設定	24
追加ビデオ設定	25
ユーザー管理&時間設定	27
センサー&キャプチャー設定	29
Eメール&FTP設定	31
アラーム&音声設定	32
動体検知設定	33
音声検知設定	34
アップロード&リセット	35
トラブルシューティング	36
アフターサービスについて	38

はじめに

商品概要

本製品は、最新のメガピクセル、トリプルコーデック (H.265、H.264、M-JPEG) のIP / ネットワークカメラです。

最大1080pのビデオとオーディオデータのリアルタイム伝送が可能です。

リモートクライアントは、PCからIPカメラに接続できます。

ビデオセキュリティ、リモートビデオ監視、遠隔教育、ビデオ会議、インターネット放送システムなどのさまざまなアプリケーションに適用できます。

PoE (Power over Ethernet、IEEE 802.3af) は、設置のための配線を削減することができます。

付属品をご確認ください

	・カメラ取付用 ねじ (M5×15) ×4本
	・六角レンチ×2
	・取付固定用 ステー×1
	・保証書×1

	・ステー取付用 ねじ (M4×25) ×4本
	・ソフトウェア/ 取扱説明書 データ
	・取扱説明書(本書) ×1
	・OPEN SOURCE GUIDE×1

免責について

- 本製品は、犯罪抑止等を意図して製作された商品ですが、犯罪の防止・安全を完全に保証するものではありません。万一被害など発生致ししても、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
 - ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害など。
 - ② お客様の故意や誤使用、不注意による障害または本商品の破損など。
 - ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合。
 - ④ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示などできないことによる不便・損害・被害。
 - ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害。
 - ⑥ お客様による監視映像（記録を含む）が何らかの理由により公となり、または監視目的以外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど。

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します（※）。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

※経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

安全上のご注意

正しくご使用いただくために必ずお守りください

取扱説明書および製品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



警告

人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意

人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



記号は、気をつける必要があることを表しています。



記号は、してはいけないことを表しています。



記号は、しなければならないことを表しています。



警告



水ぬれ禁止

水にぬらさないでください。

本製品がぬれると、故障、火災、感電の原因となります。 **屋外モデルを除く**



禁止

強度のない天井や壁には、カメラを設置しないでください。

地震などの振動で、製品が落下した場合、けがや重大な事故につながります。



異常があるときはすぐに使用をやめてください。

直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。



分解禁止

分解や改造はしないでください。

発熱、火災、感電のおそれがあります。



禁止

異物を入れないでください。

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因になります。



必ず実施

振動のないところに設置してください。

取付ねじやボルトがゆるみ、落下などでけがの原因となります。



必ず実施

人や物がぶつからない高さに設置してください。

落下などの事故の原因となります。

警告

	各部のボルト、ナット類は確実に締め付けてください。 取り付け後、ゆるみ、がたつきがあると、落下して、けがの原因となります。
	塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しないでください。 取付部が劣化し、落下による、けがや事故の原因となります。
	工事は販売店に依頼してください。 工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けがの原因となります。
	定期的に点検をしてください。金具やねじがさびると、落下などで、けがの原因となります。点検は販売店にご連絡ください。
	お手入れの際、長期間使用しない場合は電源を切ってください。安全のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。
	湿気やほこりの多い場所などに設置しないでください。湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湿気があたるような場所に設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
	本製品は電気通信事業者(移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等)の通信回線(公衆無線LANを含む)に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルータ等を経由し接続してください。

注意

	屋外で使用しないでください。 雨や風の影響で故障の原因になることがあります。	屋外モデルを除く
	車両や船舶など振動が多い場所などに設置しないでください。 (本製品は車載用ではありません)	
	本製品を廃棄する際は、各自治体の条例等に従って廃棄してください。	

この製品には、オープンソースのコンテンツに部分的に組み込まれたソフトウェアが含まれています。対応するオープンソースコンテンツのコードをダウンロードできます。詳細については、ソフトウェアCD (OpenSourceGuide \ OpenSourceGuide.pdf) またはこのマニュアルに付属のオープンソースガイドを参照してください。

使用上のお願い

警告、注意に記載されている内容とともに、本製品を安全に正しくお使いいただくために、以下の項目をお守りください。

●取扱いはていねいに。

落としたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因になります。

●カメラで赤外線投光器を使用して暗い場所を撮影したとき。

カラー・白黒モードが頻繁に切り替わることがあります。これは、赤外線投光器の光量が多すぎるために発生します。このようなときは赤外線投光器の角度を変え、赤外線光量を減らすよう調節してください。

●カメラで赤外線投光器を使用して暗い場所を撮影したとき。

カラー・白黒モードが頻繁に切り替わることがあります。これは、赤外線投光器の光量が多すぎるために発生します。このようなときは赤外線投光器の角度を変え、赤外線光量を減らすよう調節してください。

●太陽や強い照明・反射に向けしないでください。

画面の一部に強い光があると、ブルーミング(強い光の周りがにじむ現象)や、スミア(強い光の上下に縦縞が発生する現象)を生じることがあります。

●清掃は乾いたやわらかい布でふいてください。

ベンジン・シンナー・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形、変色の原因となります。

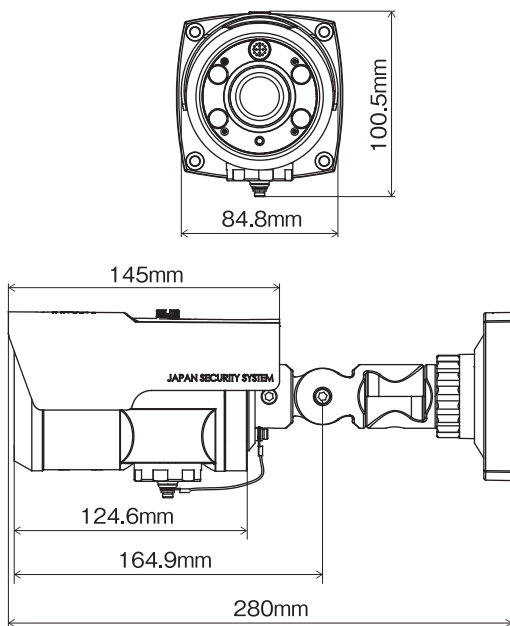
●停電時、通電復帰は自動復帰します。

但し、記録については、録画機器側にゆだねられます。

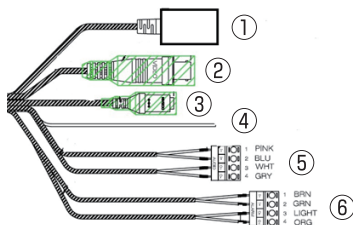
●周期的に画面がゆがみ、実際と異なる画像が出力される現象が発生することがあります。

カメラを細かく振動させたり、大きな画角で動く被写体を撮影する場合に発生することがあります。これは、CMOS撮像素子を使用したカメラで発生する特有の現象であり、カメラの異常ではありません。

外形寸法



コネクタ説明



① ネットワークポート

② BNC映像出力

③ 電源コネクタ

※PoE接続の場合は電源を
接続しないでください

④ グラウンド

⑤ AUDIO(音声入出力)

⑥ ALARM

製品仕様

イメージセンサ	1/2.94インチ 2 Megaピクセル CMOSセンサ
走査方式	プログレッシブスキャン
レンズ	f=2.8~11mm, F1.2, Auto Iris バリフォーカルレンズ
画角	水平:約36~100度 垂直:約22~54度
最低被写体照度	カラー:0.05 lx 白黒:0.0025 lx 赤外LED点灯:0 lx
ダイナミックレンジ	108dB (WDR)
電子シャッター	オート
デイ/ナイト機能	TDNあり
赤外線LED	4個
赤外線照射距離	最大 約30m(屋内最大 約50m)
画像圧縮方式	H.265 / 264 (MP) / M-JPEG
画像解像度	1920×1080(1080p)、1280×720(720p)、704×480(D1)、 640×360、352×240
ビットレート制御	H.264-CBR / VBR(~10Mbps)、H.265-CBR / VBR(~5Mbps)、 M-JPEG(~20Mbps)
最大フレームレート	30fps @ 1920×1080 + 30fps @ 4CIF
マルチストリーミング	3 (Primary、Secondary、Tertiary)
音声圧縮方式	G.726、G.711
ビデオ出力	コンポジット出力×1
音声入出力	入力:1 出力:1
アラーム入力	TTL入力(DC5V)×1本、アクティブレベル可変(NO / NC) Hiレベル最低入力電圧4.3V、Lowレベル最大入力電圧0.3V
アラーム出力	1TTLオープンコレクタ出力(NO)、DC5V 30mA
ネットワーク	10/100 Mbps Ethernet
ONVIF対応	ONVIF Profile S Ver2.4 ※ONVIF接続する場合の画像圧縮方式はH.264となります。
コネクタ	ビデオ出力:BNC、音声入出力:ケーブル、 アラーム入出力:ケーブル、ネットワークポート:RJ-45
外形寸法 / 質量	84.8(幅)×100.5(高)×280(奥)mm / 約1,165g
使用温度範囲	-10~+50℃(湿度:~90% ※結露しないこと)
電源 / 消費電力	DC12V/0.6A、最大6.6W / PoE (IEEE802.3af Class3)
IP等級	IP66

カメラの取付方法

①設置場所にカメラをねじ止めします。



②可動部を動かし、カメラの向きを調整します。



※付属の六角レンチを使用します。



六角レンチ

③画角を調整します。

カメラ下部にある調整ネジをマイナスドライバー等で回して調整します。



調整ネジ



撮影範囲を調整します。
右に回すと広角になり、左に回すと望遠になります。



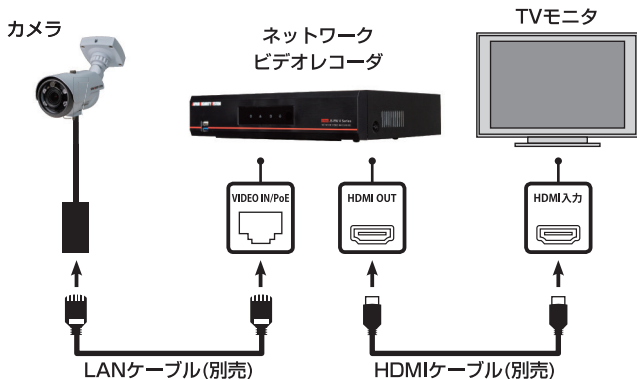
ピントを調整します。
撮影目的の場所にピントが合うように回して調整します。

※ピントを合わせにくい場合は、オートアイリス機能(P.26)で「DC Iris(全開)」を選択、適用し、Irisを開放します(ピント調整後は設定をもとに戻しておきます)。

カメラの配線方法①

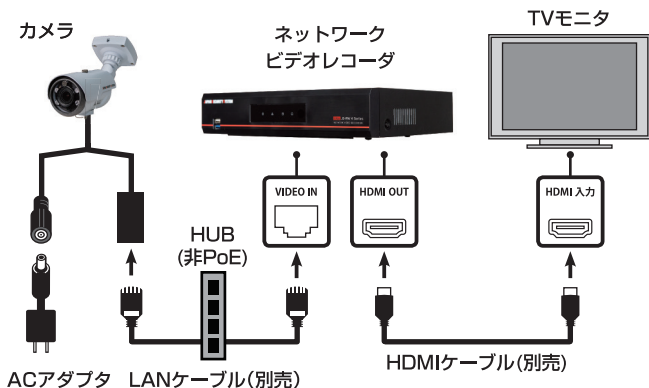
■ネットワークビデオレコーダのPoEポートに接続する場合

※PoE接続の場合は、ACアダプタ等の電源を接続しないでください。



■PoEを利用せずにACアダプタで電源供給する場合

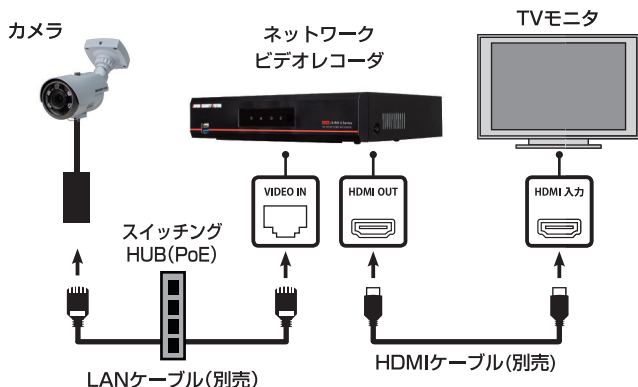
※電源仕様はDC12V 1Aとなります。当社指定の電源をご使用ください。



カメラの配線方法②

■PoEスイッチングHUBを使用して電源供給する場合

※PoE接続の場合は、ACアダプタ等の電源を接続しないでください。



ネットワークポート

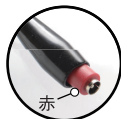
LANケーブルを接続するカメラのネットワークポート。
RJ-45イーサネット(100Base-T)/PoE (IEEE802.3af)



BNC映像出力

設定調整時などに利用できるBNC映像出力です。TVモニタの映像入力に接続してください。

※高画質の映像はご覧いただけません。



電源コネクタ

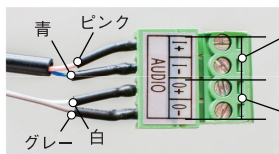
ACアダプタ等の電源を接続するカメラの電源コネクタ。

当社指定の電源をご使用ください。

※PoE接続の場合は、ACアダプタ等の電源を接続しないでください。

カメラの配線方法 ③

AUDIO(音声入出力)



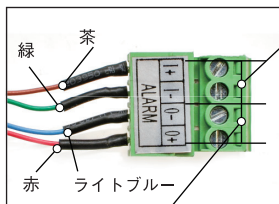
音声入力 (LINE IN)

外部オーディオソースを接続します。

音声出力 (LINE OUT)

アンプ内蔵のスピーカを接続してください。遠隔からの音声は、双方向オーディオモードでライン出力から出力されます。

ALARM



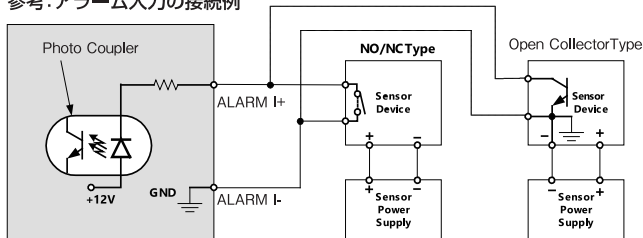
アラーム入力

外部アラームセンサを接続します。センサの種類としては、赤外線センサ、モーションセンサ、炎/煙センサ、磁気センサなどがあります。センサの2本の線を「センサ入力」に接続します。センサタイプ (NC / NO) は管理ページで設定できます。複数のセンサデバイスを並列に接続することができます。

アラーム出力

回転灯や表示灯などの警報機器をオン/オフできるオープンコレクタ出力 (NO) です。

参考: アラーム入力の接続例

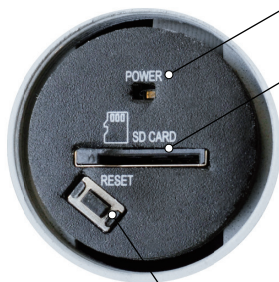


SDカードスロットなど



本体下部にあるスイッチカバーを反時計回りに回して開けます。

スイッチカバー



POWER(LED表示)

※お客様ご使用時には影響がありません。

SD CARD

録画用のSDカードを取付けます。

◇製品の通電中にはSDカードを取付け・取外しをしないでください。製品の通電中にSDカードを抜き差しするとシステムが正しく動作しなかったりSDカードに保存された録画データが損傷したりする場合があります。

◇SDカードは寿命のある消耗品です。使用回数が増えるほどメモリ素子が劣化し、録画ができなくなったり、データが損傷したりする場合があります。SDカードは定期的に点検し、必要な場合は交換してください。

RESET

IPカメラを購入時の初期設定値に戻すためのスイッチです。通電状態でカバーを外してスイッチを約5秒間押してください。

遠隔設定

ネットワークカメラの基本設定およびその他システム設定を行います。

The screenshot shows the '100-BIT' application window. The menu bar includes '標準' (Standard), '設定' (Settings), 'テスト' (Test), 'リセット' (Reset), and 'マネージメント' (Management). The 'マネージメント' menu is open, showing a 'モデルを選択' (Select Model) option. The main window displays a table with the following data:

No	名前	モデル	IPアドレス	MACアドレス	バージョン (HW/SW)
1		25-CW1012	192.168.10.100	00-00-00-00-00-00	1.0 / 1.4.7
2		25-CW1020	192.168.10.100	00-00-00-00-00-00	1.0 / 1.4.4
3		PF-CW1012	192.168.10.100	00-00-00-00-00-00	1.0 / 1.2.2

1. HD INITプログラムを起動し、メイン画面から設定を変更したいネットワークカメラを選択します
2. 設定アイコン  を押してください。メニューから遠隔設定を選択すると、遠隔設定画面が表示されます。もしくは、メイン画面からネットワークカメラを選択し、右クリックすると遠隔設定画面が表示されます。

※ IDおよびパスワードの初期値は「ユーザー管理&時間設定-ユーザー設定-管理者」の項目を参照してください。

WEBビューア

WEBビューアによる遠隔接続

IPカメラとビデオサーバはWEBブラウザ経由で接続します。WEBビューアは、製品によって異なる場合があります。



《メモ》

- (1) プロンプトが表示された場合、必要に応じ、Active X
コントローラをインストール、許可をしてください。
- (2) IDおよびパスワードの初期値は「ユーザー管理&時間設定-
ユーザー設定-管理者」の項目を参照してください。
- (3) 対応ブラウザはInternet Explorer 11です。
※2019年11月末現在



①管理者ページ

②ライブビデオページ

③検索ページ

④コントロールキー

コントロールキー

項目	詳細
 	双方向オーディオ通信のオン/オフ制御。強調表示すると、双方向音声通信が有効になります。双方向オーディオを設定するためにマイクがPCに接続されていない場合は、エラーメッセージが表示され、一時停止した画像が表示されることがあります。動画が停止している場合は、動画を再生するためにWEBページを「更新」または「再接続」する必要があります。
	静止画をキャプチャーします。キャプチャーした映像は、【Basic Setup】で指定したフォルダに保存されます。
	映像を180°回転させます。
	ボタンをクリックしてチャンネルに接続します。
	ビデオの接続を解除します。
	映像サイズを調整します。
	ボリュームコントロールとオーディオミュートコントロール。
	センサーのステータスを表示します。強調表示された色は、センサが作動していることを示します。
 Maintenance	【Upgrade】カメラのファームウェアをアップグレードします。アップグレードするファームウェアを選択し、[OK]をクリックするとアップグレードが開始されます。 ※ファームウェアのアップグレード中は絶対に電源を切ったりネットワークケーブルを外したりしないでください。 【Reboot】カメラを再起動させます。

管 理 者 ペ ー ジ

管理者ページが開始されると、下図のような画面が表示されます。管理ページの左側にはさまざまな各設定メニューが表示され、メニューを選択すると右側には選択した設定メニューの設定状況が表示されます。

◇右上のドロップダウンリストから、言語の選択が可能です。

◇設定が完了したら、映像接続を開始するために「Live」ボタンをクリックします。

基本設定

製品操作の基本パラメータを設定します。

基本設定

カメラタイトル

音声設定

音声入力選択

ラインイン ▼

ボリューム

3 レベル ▼

ビデオ帯域幅コントロール

最大アップロードレート

100 Mbps ▼

ビデオローテーション

☐

ビデオ円コーディングプロファイル

プロファイル選択

Main profile H.264 ▼

ビデオ品質

ストリーム	ストリーム 1 ☒	ストリーム 2 ☒	ストリーム 3 ☒
コーデック	H.264 ▼	H.264 ▼	H.264 ▼
解像度	1920x1080 ▼	1280x720 ▼	704x480 ▼
ビットレートコントロール	CBR ▼	CBR ▼	CBR ▼
フレームレート	30 fps ▼	30 fps ▼	30 fps ▼
ビデオレート	4 Mbps ▼	2 Mbps ▼	896 Kbps ▼
オーディオレート	64Kbps ▼		

SDカード

☒
☐
☐

適用

項目		詳細
カメラタイトル		カメラタイトルを登録する事ができます。カメラタイトルは、WEBビューアを介して表示されます。
音声入力選択		音声入力の選択を行います。
ビデオ帯域幅	最大アップロードレート	デバイスに接続されたネットワークのアップリンクの最大帯域幅を割り当てる。
	ビデオローテーション	ボックスをチェックして、映像を180° 回転させます。

項目		詳細
ビデオエンゲージメント	プロファイル選択	アプリケーションのプロファイルを選択します。デフォルトは「メインプロファイル」です。クライアントが選択したプロファイルをサポートしていない場合、ビデオを表示できないため、クライアントが選択したプロファイルをサポートしているかどうかを確認します。
ビデオ品質	ストリーム	最大3つの異なるビデオストリームを異なるビデオチャンネルを通じて同時に送信することができます。各ビデオストリームのパラメータを決定します。
	コーデック	チャンネルのビデオコーデックを割り当てます。H.264またはH.265またはM-JPEGのいずれかを選択できます。M-JPEGの使用は、特定のソフトウェアにのみ適用されるため、M-JPEGが選択されている場合、設定された解像度とフレームレートに対して低「ビデオレート」が自動的に調整されます。 ※ONVIF接続する場合の画像圧縮方式はH.264となります。
	解像度	それぞれのストリーム解像度を決定します。
	ビットレートコントロール	固定ビットレート (CBR) と可変ビットレート (VBR) を選択します。
	フレームレート	ビデオフレームレートを割り当てます。同じ帯域幅のフレームレートを下げることによって画質を向上させることができます。
	ビデオレート	映像データを伝送するビデオビットレートを割り当てます。ビデオレートが高いほど、映像品質が向上します。しかし、ビデオレートをMAX以上に設定すると、アップロード速度、通常のビデオ送信はできません。動画が途切れたり、モザイクがある場合は、動画のレートを下げる必要があります。
	オーディオレート	音声データを送信するためのオーディオビットレートを割り当てます。
SDカード		イベント時にビデオプロファイルを選択します。イベントが発生すると、選択されたストリームがマイクロSDカードに保存されます。

ネットワーク設定

ネットワーク環境に合わせてネットワークパラメータを適切に設定してください。
このモードのパラメータの多くは、「HD INIT」で設定されたものと同じです。

ネットワーク設定

静的IPアドレス設定

IPアドレス		サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0
ゲートウェイ	0 . 0 . 0 . 0		
DNS1	0 . 0 . 0 . 0	DNS2	

DHCP設定

ポート変更

管理 / 監視ツール	8016	(初期値 : TCP 8016)
HTTP	80	(初期値 : TCP 80)
RTSP	554	(初期値 : TCP 554)

☒ UPnP使用

確認...

IPフィルタリング

☐ IPフィルタリングを使用

許可リスト

Type	IP Address	
		追加...
		削除...
		全て除去...

拒否リスト

Type	IP Address	
		追加...
		削除...
		全て除去...

DDNS

DDNSを使用

☒ www.no-ip.com

確認...

ユーザーネーム	
パスワード	
Host	

適用

項目	詳細
IPアドレス設定	【静的IPアドレス設定】IPアドレスを固定して使用する場合に選択し、個別に「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」、「DNS1」、「DNS2」を入力します。その情報については、ネットワーク管理者またはISPに問い合わせてください。DNSを変更したら、カメラを再起動します。 【DHCP設定】IPを割り当てるDHCPサーバがある場合は、このモードを選択します。自動的にアドレスを指定します。

項目		詳細
ポート変更	ポート番号は、65,535の数値未満の整数でなければなりません。また、ポート番号の重複は禁止されています。	
	管理/監視ツール	HD INITおよびLIVE映像用のポートです。
	HTTP	管理ページへの接続に使用されます。デフォルトは80です。
	RTSP	製品からリアルタイムの音声/映像データを送信するために使用されます。デフォルトはTCP 554です。 RTSPアドレス: rtsp:// camera_ip_address [:rtsp_port] / StdCh <1 2 3 4>
	UPnP使用	カメラがIPルータ(またはNAT)経由でネットワークに接続されている場合は、このオプションを選択して、ポート転送を設定せずにカメラに接続します。この機能が正しく機能するためには、IPルータ(またはNAT)をUPnPで有効にする必要があります。IPルータ(またはNAT)でUPnPを有効にする方法の詳細については、それぞれのマニュアルを参照してください。
IPフィルタリングを使用		有効にするには、このオプションを選択します。IPフィルタリングにより、特定のIPアドレスからのカメラアクセスが可能になり、他のユーザーからのアクセスがブロックされます。 【追加】許容リストまたは拒否リストに新しいIPアドレスを追加します。ホストオプションを選択して、一度に1つのIPアドレスを追加します。選択するグループオプションを使用して、追加するIPアドレスの範囲を定義します。 【削除 / 全て除去】許容リストまたは拒否リストから個々のIPアドレスまたはすべてのIPアドレスを削除します。
DNSを使用	チェックをすると、No-ip.comサービス(※注)を利用したDDNSを使用できます。あらかじめNo-ip.comのWebサイト(http://www.no-ip.com/)で、ユーザー登録、ドメイン登録を済ませておく必要があります。ユーザーネーム、パスワード、HOSTを設定してから「確認」ボタンを押すと、登録済みかどうかチェックをすることができます。	
	ユーザーネーム	ユーザーネーム(通常はメールアドレス)を設定します。
	パスワード	Webサイトで登録したパスワードを設定します。
	HOST	Webサイトで登録したHOST名を設定します。

※注 No-ip.comは当社が運営しているサービスではないため、サイトの信頼性、安定性については当社は責任を負えません。また、Webサイトへの登録方法についてもサポートしておりません。No-ip.comは有償サービスと無償サービスがあります。無償サービスはWebページから1か月毎に更新が必要です。誤って有償サービスに登録された場合でも当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

802.1x 設定

IEEE802.1x認証の設定ページです。

802.1x 設定

ライセンス認証

802.1x

使用

使用しない

使用しない

設定

EAPタイプ

MD5

ユーザーネーム

パスワード

プライベートキーのパスワード

許可

CA 許可

CA証明書がアップロードされていません

インストール

クライアント 許可

クライアント証明書がアップロードされていません

インストール

プライベートキー

プライベートキーがアップロードされていません

インストール

適用

項目		詳細
802.1x		「使用」を選択すると、802.1x認証が有効になり、認証が必要なクライアントとして動作するようになります。
設定	EAPタイプ	EAPタイプを選択し、サブフィールドを構成します。 EAPタイプを選択して認証方法を選択します。認証が成功するには、クライアントとサーバーが同じ認証方法を使用する必要があります。各方法で使用するフィールドは次の通りです。 【MD5】ユーザーネーム、パスワード 【TLS】ユーザーネーム、プライベートキーのパスワード 【PEAP】ユーザーネーム、パスワード
	許可	
	CA許可	サーバ確認用認証。「インストール」からCA証明書をアップロードします。
	クライアント許可	クライアント確認用認証。「インストール」からクライアント証明書をアップロードします。
	プライベートキー	クライアントのプライベートキー。「インストール」からプライベートキーをアップロードします。

ビデオ設定

製品の入力ビデオのパラメータを調整することができます。

ビデオ設定

イメージ設定

コントラスト		50
明るさ		50
彩度		50
色相		50
OSD時間表示	☐ 有効	左上
プライベートマスク	☐ 有効	白

初期値へ戻す
 確認

追加ビデオ設定
 進む

☐ ☐

適用

項目	詳細
コントラスト	映像のコントラストを調整します(1~100)。
明るさ	映像の輝度を調整します(1~100)。
彩度	映像のサチュレーションを設定します(1~100)。
色相	映像の色調を調整します(1~100)。
OSD時間表示	OSDメニューで詳細な設定をすることが可能です。OSD時間表示を有効または無効にしたり、OSD表示の位置を割り当てられたりします。OSDで変更すると、変更された設定は常に保存されます。
プライベートマスク	映像の一部をマスキングします。マウスを一角に置き、マウスをクリックしてドラッグします。ボタンを押してエリアを選択します。
初期値へ戻す	ビデオ設定を初期状態に戻します。
追加ビデオ設定	追加ビデオ設定に移動します(詳細は次ページ)

追加ビデオ設定

ビデオ設定

イメージ設定

WDR	使用しない	オートアリス	DC Wdr(自動)
アンチフリッカー	使用しない	2D WDR	自動
スローシャッター	使用しない	3D WDR	3 (普通)
鮮明度	自動	露光時の露出補正	0 (普通)
露光制御	☒ Auto ☐ Manual	露光補正	使用しない
シャッタースピードコントロール	1/30H		1/10000H
露補正	使用しない	IR強度	100%

ホワイトバランス

ホワイトバランス ☒ Preset ☐ Manual

レバノール 1.43

自動

色温度 1.29

初期/各モード

白黒モード 自動

IRカットフィルター 自動

初期設定へ戻す 確認 ビデオ設定 進む



適用

項目	詳細
WDR	画面上の明暗差が大きくなった際、WDR(ワイドダイナミックレンジ)は最も明るい領域のレベルと最も暗い領域のレベルを調整して全体のイメージをより鮮明にします。
アンチフリッカー	設置されている照明の周波数の影響で画面がちらつく際に選択します。例:50Hz地域(関東、東北、北海道等)でちらつく場合は「50Hz」を選択します。
スローシャッター (電子感度アップ)	暗い場所の場合、明るさに応じて設定した最大蓄積時間まで自動的にシャッタースピードを低下させ、電子感度アップさせるようにします。
鮮明度	ビデオの鮮明度を調整します。
露光制御	シャッタースピードを調整します。このオプションは、アンチフリッカーとスローシャッターが両方オフに設定されている場合にのみ使用できます。 【Auto】照明条件を自動で認識し、シャッター速度を自動的に調整します。 【Manual】スライダを使用して、希望のシャッタースピードを選択します。カメラが設置されているエリアの照明条件に適した最小シャッタースピードと最大シャッタースピードを選択します。

項目	詳細
シャッター スピード コントロール	スライダーを使用して、希望のシャッター速度を選択します。カメラが置かれているエリアの照明条件に適した最小シャッタースピードと最大シャッタースピードを選択してください。
霧補正	霧、煙、雨、スモッグなどの異常な環境の画像は、通常の画像よりもダイナミックレンジが低くなります。この機能はコントラスト強調であり、このような欠点を克服するために使用されます。
オートアイリス	レンズアイリスの開き具合を調整します。 【DC Iris(自動)】システムが照明条件を認識し、自動的にIRISの開放度を調整します。 【DC Iris(全開)】システムが照明条件を認識し、IRISの開放度を完全に開いた状態に連続的に調整します。
2DNR	2次元ノイズリダクションの設定を行います。
3DNR	3次元ノイズリダクションの設定を行います。
夜間時の 露出補正	露出補正のゲイン値を設定します。露出は、指定された目標ゲインに基づいて自動的に補正されます。ゲインが高いほど、画像が明るくなります。
逆光補正	バックライトモードを選択します。この機能は、明るすぎたり暗すぎたりするように見える領域を調整するのに便利です。 【使用】バックライトのために被写体が暗く見える場合、BLCは全体的に暗い被写体が明るくなるように画像の明るさを調整します。 【HSBLC】画像の最も明るい部分をHSBLCでマスクし、画像の残りの部分がより鮮明に表示されるようにします。
IR強度	IR LEDの明るさを設定します。値を大きくするほど明るくなります。
ホワイトバランス	ホワイトバランスモードを選択します。この機能により、異なる光源から放出される色に基づいて色温度を調整することができます。照明は、一般に、色温度と呼ばれ、ケルビン(K)の測定値で表されます。
白黒モード	【自動】暗くなると自動的にカラーから白黒に切り替わります。 【使用】常に白黒画像で表示されます。 【使用しない】常にカラー画像で表示されます。
IRカット フィルター	【自動】暗くなるとIRカットフィルタが自動的に外れます。 【昼間タイムモード】常にIRカットフィルタを入れます。 【夜間タイムモード】常にIRカットフィルタを外します。
初期値へ戻す	追加ビデオ設定を初期状態に戻します。
ビデオ設定	ビデオ設定に移動します(詳細はP24)

ユーザー管理 & 時間設定

ユーザーのIDとパスワードを変更したり、各ユーザーに異なる属性を割り当てたりすることもできます。設定が完了したら、「保存」をクリックして設定値を保存してください。

ユーザー管理 & 時間設定

ユーザー設定

管理権

ユーザーネーム	admin	1~15文字
パスワード	*****	1~16文字
パスワードの確認	*****	追加

ユーザー設定追加

ユーザーネーム		1~15文字
パスワード		1~16文字

属性

☒ アップグレード	☒ 設定	☒ カラーコントロール	☐ PTZコントロール
☒ アラーム・アウト制御	☒ 検索	☒ バックアップ	

ユーザーリセット

	リセット
----------------------	-------------------------------------

権限設定

☐ 匿名のログインを許可する	☐ 匿名のPTZ操作を許可する
---------------------------------------	--

時間設定

現時刻	日付 2019/11/25	時間 17:32:47
タイムゾーン	GMT+09:00 Osaka, Sapporo, Tokyo	
	☐ サマータイムの使用	
時間設定	☒ NTPサーバーとの同期 タイムサーバーの選択	
	タイムサーバーの特定	
	☐ PCR時間との同期	
	日付 11/25/2019	時間 17:16:53
	☒ 手動設定	
	日付 11/25/2019	時間 17:15:18

項目		詳細
ユーザー設定	管理者	【ユーザーネーム】管理者ID。初期値は“admin”です。 【パスワード】管理者パスワード。初期値は“1234”です。 ※不正使用を防ぐため、初期パスワードから変更してください。 【パスワードの確認】管理者パスワードの確認のため、同じ文字を入力してください。
	ユーザー設定追加	【ユーザーネーム】追加したいIDを入力。最大100名のユーザーを追加できます。 【パスワード】ユーザーパスワードを入力してください。 【属性】システムリソースへのアクセスについては、ユーザーに異なる特権を割り当てることができます。 「アップグレード」「アラーム・アウト制御」「設定」「検索」「カラーコントロール」「バックアップ」を任意で選択します。
ユーザーリスト		登録しているユーザーの選択と情報の削除ができます。
閲覧認証		管理者が「匿名のログインを許可する」項目をチェックすると、Webビューアに「anonymous」で接続できます。 (参考) ☒ Allow Anonymous Login 【WEBビューアのログイン画面】 
時間設定	現時刻	現時刻を表示します。
	タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。
	時間設定	【NTPサーバーとの同期】製品に登録されている時間と、インターネット上のタイムサーバに登録されている時間とを同期させます。タイムサーバが製品から届かない場合は、「タイムサーバーの特定」フィールドに入力してタイムサーバを割り当てることができます。 【PC時間との同期】製品に登録されている時間とPCの時間を同期させます。 【手動設定】時間を手動で設定します。必要な書式でフィールドを入力します。

センサー & キャプチャー 設定

センサーとビデオキャプチャーの設定を行います。キャプチャーされた映像は、FTPでユーザーに送信することも、カメラに装着されたSDカードに保存することもできます。

センサー & キャプチャー 設定

センサー設定

センサー 1

ノーマルオープン

Alarm In

(名前)

イベント設定

センサーリリフ

☒

☐ Eメール送信
 ☐ FTP送信
 ☐ SDカード
 ☐ アラームサウンド出力
 ☐ アラーム・アウト

動作後通知選択

☒

音声後通知選択

☐ (音声後通知は、動作後通知の一部です)

☐ Eメール送信
 ☐ FTP送信
 ☐ SDカード
 ☐ アラームサウンド出力
 ☐ アラーム・アウト

添付ファイルタイプ

なし

(Eメール送信時に連伝されます)

動作設定

音声設定

録画時間前後

	録画時間前	録画時間後
FTPアップロード	0 秒	10 秒
SDカード	15 秒	15 秒

SDカード管理

フォーマット	確認	ステータス
		なし

モード

連続 - イベント

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

Mon

Tue

Wed

Thu

Fri

Sat

Sun

☒ 連続 - イベント
 ☐ 連続 - タイムラプス/イベント
 ☐ 連続 - タイムラプス

全て選択

使用

使用しない

適用

29

項目		詳細
センサー1		センサタイプを選択します。センサは2種類あります(ノーマルオープン/ノーマルクローズ)。
イベント設定	センサートリガー	センサイイベントの有効/無効およびセンサイイベント発生時の動作を選択します。
	動体検知選択	モーション検知イベントの有効/無効およびモーション検知イベント発生時の動作を選択します。
	音声検知選択	オーディオ検出イベントを有効/無効およびオーディオ検出時の動作を選択します。モーション検知イベントに適用される送信方法が送信に適用されます。
	添付ファイルタイプ	添付ファイルの有無を選択します。
録画時間前後	FTPアップロード	FTPによる画像アップロードの時間(プリ録画/ポスト録画)を設定します。設定した録画時間の間、1秒ごとに画像がアップロードされます。
	SDカード	内蔵のSDカードに録画する時間(プリ録画/ポスト録画)を別々に設定できます。
SDカード管理		録画を選択すると、SDカードに映像を録画します。まず、SDカード(Class 10)が正しく挿入されていることを確認してください。 【フォーマット】挿入されたSDカードをフォーマットするには、このボタンをクリックします。SDカードをフォーマットすると、カードに保存されているすべてのデータが消去されます。 【ステータス】SDカードが正しく挿入されている場合に総容量が表示されます。

※注

- IPカメラをインターネットやレコーダに接続せず単独で動作させ、SDカードに録画する場合
- ◇カメラのSDカードに録画する運用の場合でも、カメラのネットワークポートは通信状態が維持されていないと安定した録画動作が保証されません。ルータ等と接続した状態での運用が必要です。
 - ◇SDカードの抜き差しは、まずカメラの電源をOFFにした状態で行ってください。
 - ◇設定時に使用するHD INITプログラムは、必ず終了してください。また、HD INITプログラムを先に終了してから、LANの接続を切断してください。

Eメール & FTP 設定

EメールおよびFTP接続情報を設定します。

Eメール & FTP 設定

Eメール設定

受信Eメールアドレス	
Eメールアドレスへ戻る	

SMTPサーバーの設定

SMTPサーバー			
ユーザーネーム		パスワード	
TLSを使用	☐	Eメールポート番号	25 (初期値: TCP 25)

FTPサーバー設定

FTPサーバー			
ユーザーネーム		パスワード	
位置を保存	☐	ポート	21 (初期値: TCP 21)
アップロードテスト	テスト		

項目		詳細
Eメール設定	受信Eメールアドレス	メールの送信先を設定します。
	Eメールアドレスへ戻る	メールの送信元を設定します。設定されていない場合、送信者アドレスは "support@net-video.net" に設定されます。 《メモ》このフィールドに有効な電子メールアドレスが入力されていない場合、製品からの電子メールメッセージが受信者の電子メールサーバのSPAMフィルタを通過しないことがあります。
SMTPサーバーの設定		外部メールサーバを使用している場合は、フィールドに適切なパラメータを入力します。 【TLSを使用】は、SMTPサーバによるログオン中にTLSを使用する要求のみをチェックします。 【ポート】は、変更されたEメールサーバのデフォルトポートのみ使用してください。
FTPサーバー設定		キャプチャされたビデオデータを送信するためのIPアドレス、ユーザー名、パスワード、およびFTPサーバのディレクトリを設定します。デフォルトのFTPポート番号は21です。

アラーム & 音声設定

アラームとアラーム音声の設定を行います。

アラーム & 音声設定

アラーム・アウト

出力時間 5 秒. ▼

アラーム音声

ボリューム 0 ▼ dB

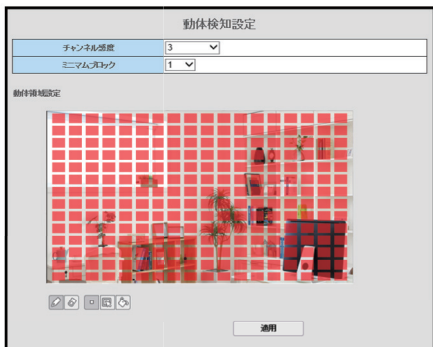
イベント種類	サウンド
センサー	オーディ. ▼
モーション	オーディ. ▼

適用

項目		詳細
出力時間		アラームの持続時間を設定します。
音アラーム	ボリューム	アラームのボリュームを設定します。
	イベント種類	各イベントのアラーム音(オーディオファイル/.wav)を選択します。

動体検知設定

モーション検出領域を設定します。最大3つの領域を設定できます。



項目	詳細
チャンネル感度	各チャンネルのモーション検出の感度を設定します。
ミニマムブロック	動体検知をする最小のブロック数を設定します。
動体領域設定	設定をクリックし、ブロックを使用し動体検知する範囲を設定してください。 【領域設定】動体検知を有効/無効にします。 【領域削除】指定している領域を削除します。 【セル】動体検知ブロックを個別に選択/選択解除します。 【リージョン】複数の動体検知ブロックを選択/選択解除します。 【フィル】すべての動体検知ブロックを選択/選択解除します。

音 声 検 知 設 定

音声検知レベルを設定します。音声検知は、システム内の動体検知の一部として処理されます。

音声検知設定	
☐ 音声検知を使用	
スレッシュホールド	3 ▼
適用	

項目	詳細
音声検知を使用	【スレッシュホールド】各チャンネルの音声検出の感度を設定します。数値を下げると感度が高くなります。 《メモ》不必要な高感度で誤った音声アラームが生成される可能性があるので、テスト後に最も適切なレベルに値を設定する必要があります。

アップロード & リセット

本製品で使用するアラーム音声ファイルやシステム変数ファイル(カメラ設定ファイル)のアップロード/ダウンロードおよび設定のリセットができます。

アップロード & リセット

アラーム音声 1

インストール

アラーム音声 2

インストール

アラーム音声 3

インストール

システム変数ファイル ダウンロード

registry.dat

ダウンロード

システム変数ファイル アップロード

インストール

初期値に戻す

☒ ネットワーク構成を保存する
 ☐ すべて

確認

適用

項目	詳細
アラーム音声	インストールをクリックして、オーディオ(.wav)ファイルをカメラにインストールしてアラーム音を鳴らします(16ビット、16Khzエンコードファイルのみサポート)。
システム変数ファイルダウンロード	現在の設定を.xmlファイルとしてエクスポートします。ボタンをクリックし、ファイル名を入力します。
システム変数ファイルアップロード	セットアップファイルを開き、その設定をカメラに適用します。ボタンをクリックし、セットアップファイルを選択します。ファイルのネットワーク設定(DDNSなど)を適用するには、「ネットワーク設定を含める」を選択します。ネットワーク設定の詳細については、ネットワークページを参照してください。
初期値に戻す	日付/時刻以外のすべての設定を出荷時の初期値に戻します。ネットワークの初期設定を読み込むには、「ネットワーク設定を含める」を選択します。ネットワーク設定の詳細については、ネットワークページを参照してください。

トラブルシューティング

(1)インストール後のトラブルシューティング

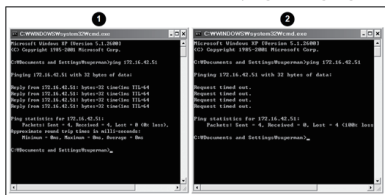
Q.チャンネル名もビデオも表示されず、最終的にタイムアウトメッセージが表示されます。

A.デバイスの電源とネットワーク接続を確認してください。

ネットワークが正常に動作しているかどうかを確認するには、ブラウザを開いて任意のサーバーに接続してください。 例) <http://www.google.com>

または、コマンドプロンプトを開き、次のように入力します。 例) `ping www.google.com`

次にEnterを押します。



①「Reply from ...」というメッセージが表示された場合は、ネットワークが動作していることを意味します。正しくデバイスが接続されているかどうかを確認するには、コマンドプロンプトを開き、次のように入力します。

`ping [サーバーのIP]` 例) `ping 192.168.1.112`

②返信メッセージが表示された場合、サーバーが正しく接続されていることを意味します。返信メッセージが表示されない場合は、ネットワークケーブルと電源ケーブルが正しく接続されているかどうかを確認してください。

Q.サーバーの名前は表示されますが、ビデオは使用できません(WEBのフレームのみ)。

A.この場合、ネットワーク接続に問題はありません。以下を実行してください。

◇ビデオが製品に正しく適用されているかどうかを確認してください。

◇製品とクライアントの間にファイアウォールが存在するかどうかを確認し、ネットワークがNATタイプかどうかを確認してください。

◇TCPを通して製品に接続します(TCPのみが利用可能です)。ネットワークタイプがNATの場合は、「ポートマッピング」を実行する必要があります。NATサーバーは、特定のポートを介してパケットを「ポートマッピング」を通じて製品に送信します。

IP共有デバイス(ブロードバンドルータ等)は、一般に「ポートマッピング」機能を有します。手順の詳細は、IP共有デバイスのマニュアルを参照してください。

(2)デバイスに正常に接続した後のトラブルシューティング「映像の動作が遅い」

管理ページの基本設定で、「品質」を下げてください。高品質とは、より多くのデータを意味します。また、「最大」を設定することもできます。アップロードレートを高い値に設定します。ただし、この値は、ネットワークの最大アップロード速度よりも低くする必要があります。たとえば、ネットワークの最大アップロード帯域幅が400Kbpsである場合は、合計「最大」を設定します。「アップロード速度」を384Kbpsと設定します。これを高く設定すると、ビデオ画像がアーティファクトで破損する可能性があります。ネットワークの最大アップロード帯域幅については、ネットワーク管理者またはISPに問い合わせてください。

Q.映像が鈍く、緑色 または、ピンク色の点が見えます。

A.これは、PCのパフォーマンス制限によって引き起こされる可能性があります。

ビューアプログラムを実行している間、あまりにも多くのプログラムを実行しないでください。もう1つの理由は、デバイスからの送信でデータが失われている可能性があります。

Q.モザイク現象が発生します。

A.モザイク現象は、ビデオの解像度とフレームレートを考慮して十分なネットワーク帯域幅がない場合に発生します。

例は704×480のビデオで、最大値は低いです。

アップロードレート、帯域幅の狭いネットワークでは、解像度とフレームレートを低い値に調整することをお勧めします。

(3)その他

ActiveXコントロールのインストールと実行に関するメッセージが画面またはモニタに表示される場合は、それを受け入れる必要があります。

アフターサービスについて

この製品は「保証書」を別途添付しております。所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■保証について

正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載内容により、お買い上げの販売店（または工事店）が修理いたします。その他の詳細は、保証書をご覧ください。

- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 本製品が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。

修理を依頼されるときは

下記事項をお買い上げ販売店にご連絡ください。

- ① 故障の状況（できるだけ詳しく）
- ② 品名と品番（ネットワークカメラ JS-CW1020A）
- ③ お買い上げ年月日（保証書に記入）
- ④ 製造番号（保証書に記入）
- ⑤ お名前、おところ、電話番号

■定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検・保守の実施をおすすめします。詳しくは、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

- 万一故障が発生した場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。本製品は当社保証規定に基づいて保証させていただいております。

JAPAN SECURITY SYSTEM
Safety and trust keep to the future

株式会社日本防犯システム

<https://www.js-sys.com/>

〒105-6109 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービルディング9階

TEL : 03-6809-1217

FAX : 03-6809-1701

東京支店	〒105-0013 東京都港区浜松町1-12-10 第一登茂ビル4階
仙台支店	〒980-6023 宮城県仙台市青葉区中央4-6-1 SS30 23階
名古屋支店	〒451-0046 愛知県名古屋市中区牛島町2-5 トミタビル9階
大阪支店	〒530-0012 大阪府大阪市北区芝田1丁目14-8 梅田北プレイス5階
広島支店	〒730-0051 広島県広島市中区大手町2-8-5 合人社広島大手町ビル10階
福岡支店	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-2-8 住友生命博多ビル7階
札幌営業所	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西12-4-69 あいおいニッセイ同和損保札幌大通ビル7階
北関東営業所	〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町3-1-2 明治安田生命大宮ビル5階
高松営業所	〒760-0017 香川県高松市番町1-6-8 高松興銀ビル4階